



滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しに向けた地域ワーキングを開催



このたび滋賀県では、平成30年3月に公表した『滋賀県道路整備アクションプログラム2018』の見直しを実施することになりました。

高島土木事務所では、管内における地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について意見を聴くことを目的に、有識者、公募委員、道路利用者等からなる「地域ワーキング」を開催しました。

道路整備 アクション プログラム とは

「道路整備アクションプログラム」とは、「どこに、どんな道路が、いつまでに必要か」を具体的に示した道路の整備計画のことで、県内8地域別に策定しています。

このプログラムは、社会情勢の変化や政策課題に係る変更が生じた場合に適宜見直し、最長でも5年で見直すこととしており、平成15年度の当初策定から5年サイクルでこれまで3回の見直しを実施しました。

今回は道路整備マスタープランの3次改定を受け、4回目の見直しを実施します。『アクションプログラム2023』では、令和5年度～令和14年度までの10年間における道路整備計画を明らかにします。

■平成30～令和3年度の間に完了した事業の一例

五番領安井川線（安曇川工区）R3.4供用



◆◆第1回地域ワーキング開催概要◆◆

【日時】 令和4年8月1日（月）
14:00～16:00

【場所】 高島合同庁舎 2階2-A会議室

▶地域ワーキングの目的

高島土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、色々な立場の方から意見を聴くことを目的とする。

▶地域ワーキングの検討内容

- ①地域の道路・交通の現状、問題点、課題の整理
- ②客観的評価マニュアルにおける地域の重点項目の選定
- ③地域ワーキングにおける「地域の声」のとりまとめ
- ④アクションプログラム2023における掲載箇所(案)

見直しの手順

- ①地域ワーキングの意見、県民アンケート、市町意見等を踏まえて「地域の声」「地域重点項目」を設定する。
- ②最新データに基づき、客観的評価マニュアル※により事業を評価する。
- ③選択と集中を図り、早期に事業効果を発現できる事業を抽出する。

アクションプログラム策定スケジュール

第1回
ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見をいただきました。

今回

第2回
ワーキング

第1回ワーキングで頂いた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、意見をいただきます。

第3回
ワーキング

「地域の声」「地域の重点項目」「定量的指標」等の報告、個別路線の代表候補箇所を提示し、意見をいただきます。

第4回
ワーキング

アクションプログラム2023(案)を提示し内容について意見をいただきます。

アクションプログラム2023策定
(令和5年3月予定)

※客観的評価マニュアルについて

「客観的評価マニュアル」とは、アクションプログラムにおける事業の優先度を誰が見ても納得できる評価基準、誰がやっても同じ評価結果とするための客観的な評価方法を記載したものです。

これにより、現道拡幅やバイパス整備、交通結節点整備などの「拠点間ネットワーク整備事業」、歩道や自転車道整備などの「拠点内道路空間整備事業」について、A・B・Cの3段階でランク分けを行い、事業の優先度を判断するものです。

ワーキングでいただいた主なご意見

▶アクションプログラム2018等の道路整備による地域の変化

- 道路が整備されて地域の中に細かく道ができたのに比例して、事故も多くなった。ヒヤリとすることも多い。
- 道路整備が進む中で、大型車両の増加により安心して道路が歩けない環境となっている。子どもや小学生、通学路で、いつ事故が起きてもおかしくない。交通安全対策が大事だと思う。

▶高島地域における道路の問題・課題

- 緊急時の迂回路として、国道367号がその指定に耐えうる状況にあるのか、緊急輸送路が高島市にも確保されているのか懸念がある。
- 湖西に高速道路がないので、トラックがいつも渋滞している。何かあった時にも、道が一本しかない。事故も多いので、課題だと思う。
- 交流人口の増加により交通量が多い。バイパスも混んでいる。

▶高島地域の道路整備について

- 車と人を分ける整備は無理だと思うが、運転手に注意喚起を図っていく必要がある。冬季を含め、どんな時期でも安全に安心して通れる道路整備を進めてほしい。
- 北陸新幹線との連携で、小浜や敦賀に行く道ができることにより地域が発展すると思う。
- 広域的に考えると、大津に向かって、できればもう一本道路があればと思う。長いスパンの話になるが、国道161号の改良と合わせて並行路線の整備も進めてもらいたい。
- 県道と湖周道路とをつなぐ道ができると良いと思う。
- 山間の中を走る路線では、災害や台風で倒木があると通行できなくて孤立することもあるので、解消のために木を切るなどの道路整備を進めてほしい。
- 災害時の避難道路の整備を強く望む。
- 子どもの通学路や園児の散歩コースについて、歩道の設置、ガードパイプやガードレールの設置を進めてもらいたい。
- 高島と小松をつなぐ道を1つ増やしてほしい。

▶その他

- 高島市と連携して道路整備について広くPRをしてもらいたい。
- 空飛ぶ自動車について、実証実験をしている自治体もある。観光にも交通にも良く、空飛ぶ自動車は琵琶湖のある滋賀県に合うと思う。10～20年先を考えると、琵琶湖に空飛ぶ車が飛んでいるだけでも楽しい。渋滞緩和にもつながると思う。



地域ワーキング委員(敬称略、五十音順)

- | | |
|--|---|
| 饗庭 正昭 [公募委員] (欠席、意見受領) | 藤田 幸典 [高島警察署交通課 課長] |
| 今村 忠彦 [NPO法人SMSA 持続可能
管理協会びわこ 理事長] (座長) | 前川 為夫 [びわ湖高島観光協会 会長] |
| 小崎富美子 [高島交通安全協会 副会長] | 松本美和子 [介護保険認定審査委員
介護保険事業計画等策定委員会 委員] |
| 福田 久司 [高島市商工会 会長] | 柳生 徹 [高島市都市整備部 部長] |

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング
～高島地域ワーキングニュース～ 2022年9月発行

【編集・発行】 滋賀県高島土木事務所道路計画課

〒520-1621 高島市今津町今津1758 TEL:0740-22-6052 FAX:0740-22-3318

E-mail: ha37100@pref.shiga.lg.jp URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/douro/326756.html>

議事録URL
はこちら

